

事業所名	ツリーハウス泉大津教室					支援プログラム	作成日	2025年	3月	18日
法人(事業所)理念	「できる!」を大切に、「できる!まで」をもっと大切に!!									
支援方針	事業所の理念を基に、日々の支援の中で子ども達の成功体験を増やし、成功するまでの過程をしっかりと評価します。 ツリーハウスでしかできない体験をたくさんしてもらいたい。子どもが子どもらしく、大人の判断が先行することなく、「子ども達自身で考える、判断できる」環境を作りたいという思いがあります。子ども達の好奇心を尊重しながら、大人からダメと言われる理由、なぜそれがダメなのか等を考えられる場所でありたい。やってみての失敗も経験し、失敗することもいい経験だと思ってもらいたい、失敗は”上手くいかなかった方法を知ることができた成功だ”と子ども達に感じてもらえたらと思っています。そんな思いをプログラムに込めています。									
営業時間	平日	10時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	あり	なし		
	土日祝	10時	0分	17時	0分					
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	生活リズムや生活習慣の形成、基本的な生活スキルを獲得し、自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援しています。 健康な生活の基本となる食の部分では、調理実習や食べ比べ、外食体験、昼食提供、季節に合わせた食べ物を仕入れてみんなで食べてもらうといった様々な形で提供させていただいています。「みんなで一緒に調理する」という経験や「同じ釜の飯を食う」という経験を通じて、食事の楽しさやコミュニケーションのきっかけになる事を感じてもらえたらと思っています。また、他県にも事業所があるからこそその強みを活かして、名産品を子ども達に味わってもらい、触れてもらうという経験も大切にしています。								
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や動作の改善及び習得を支援します。 公園やプール、運動施設への外出には力を入れています。ツリーハウスの敷地内でも職員と子ども達の全力鬼ごっこは日々行われていますが、大型遊具のある公園や広場ではより一層鬼ごっこや逃走中が盛り上がります。遊具等を使うことでバランス感覚や空間の把握が期待でき、思いっきり身体を動かすことで、筋力や体力がつく上、ストレス発散にも繋がります。								
	認知・行動	感覚や認知の活用や、知覚から行動への認知、行動の手がかりとなる概念の形成を目的として活動を考えています。 物作りや科学実験を通して、物の属性や形、色、音が変化の様子を目で見ても触っても実感してもらったり、日常の中にある不思議にも関連付けられる取り組みを意識しています。日常の当たり前前の事象でも、仕組みが分かると次の興味関心や発見に繋がり、プログラムで知り得た内容が認知や行動のきっかけになればと思っています。また、子ども達が保護者様に内容を共有することで認知したことのアウトプットに繋がり、事業所外で見つけた発見を職員に教えてくれるといった自発的な行動にも繋がっています。								
	言語コミュニケーション	挨拶や会話などに加えて、適切な言葉選びや状況判断など、対人関係や集団の中での円滑なコミュニケーションを行うための支援を行います。 児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能なので未就学児(3歳)～中学生(14歳)の年齢幅があります。プログラムに限らず、日々、年齢や関係性に応じた言葉選びや表現に気をつける環境が子ども達自身で作られています。その中でも、自分の言動が相手にどのように映るかや、個人ではなく集団になった時にどのような言葉や振る舞いが適切か、相手の気持ちになって考えてみるなどゲームを通してみんなで考える場を活動に取り入れています。また、子どもたちの日常とは切り離せないSwitchなどのゲームを活動に取り入れ、オンライン上でのやり取りや言葉遣いについても子ども達自身が分別をつけられるよう取り組んでいます。								
	人間関係社会性	遊びの中でのルールや役割を理解し、周りの友達との協同・協力を通して、適切な人間関係の形成を促します。 「事業所内にとどめない」という所に重きを置いています。子ども達にとってこの事業所は人生の通過点に過ぎず、これから先社会に出た時に困らないように、事業所外の”一般的”や”社会”といわれる部分に繋がられる工夫をしています。外出支援での、公園で順番を待つ、交代する、端に寄って歩くといったルールは、他者との円滑な関係を築く手段として理解し行動できるきっかけになればと思っています。また、流行にも敏感かつ時代にも柔軟でありたい思いから、ゲームの日の導入やYouTubeの企画のような活動も取り入れています。家では怒られるけど、ツリーハウスではチャレンジできる!といった活動もこの事業所ならではの活動と思っています。								
S T	個別訓練	来所中のお子様を1人ずつピックアップする形で、言語聴覚士による個別の訓練(約40分間)を行っています。保護者様の送迎等のご負担にならないようお預かり時間内に行い、訓練後はデイサービスに戻す形態をとらせていただいています。								
	小集団	プログラムと並行して、5～6人程での小集団での訓練を行っています。言語聴覚士が選定したご利用者様や参加の意思を示したご利用者様を対象にゲーム性を持たせた訓練を実施しています。								
家族支援	・保護者様のお弁当作りを1日でもお休みしていただけるよう昼食提供の実施 ・ペアレントトレーニングの実施					移行支援	・高校生になったら、この事業所でアルバイトをしてもらえたらいいなと思っています ・子ども達の就労先になればと思い、現在事業所で薪の配達を行っています			
地域支援・地域連携	・eスタジアムさんとの連携によりeスポーツの導入 ・ご利用者様及び地域の方に昼食を提供するツリーハウス食堂の開催					職員の質の向上	・全職員対象の研修の受講(虐待研修・言語聴覚士による支援方法及び内容の研修) ・人材養成及びスキルアップの為に資格の取得(強度行動障害支援者養成研修)			
主な行事等	・バーベキュー・夏祭りor秋祭り・ハロウィンパーティー・クリスマス会									